

北海道で自然体験

～ 児童生徒県外研修 ～



学年のちがう人たちともすっかり仲良くなれました

町教育委員会主催による「児童・生徒県外研修」が、7月31日から8月2日までの2泊3日の日程で行われました。この研修は、将来町の担い手となる子どもたちに、ふるさと横芝町と異なった土地の自然や文化、生活習慣などを学んでもらおうと、平成4年から毎年行なっているもので、7回目となった今回は、町内の各小中学校から男子9名、女子19名の合計28名が、豊かな自然に恵まれた北海道の厚岸町^{あつけし}で自然散策やカヌー、野外炊飯などを体験してきました。

今月号では、大自然の中で様々な体験をした子どもたちの感想文をご紹介します。

『児童・生徒県外研修』に参加して



横芝中一年
椎名 彩香^{あやか}

私は、この研修で初めて北海道に行きました。羽田空港から飛行機に乗るのも初めてで、何もかも初めての研修でした。

羽田空港から飛行機に乗り約一時間三十分で釧路空港に到着。飛行機を降りると私が想像していた以上に北海道は寒かったです。それにもっとびっくりしたことがあります。それは牧場がすごく多いということです。バスで目的の地に移動していた時にも、窓の外には馬や牛の放し飼いが多く見られました。

一日目は、丸い形をした「マリモ」の観察です。マリモはマリモでも天然のマリモです。マリモはすごく大きいものから、小さいものまでありました。

そして、つる公園にも行きました。つるはとても生き生きしていて、いろいろなポーズをしていました。足を上げているつるや首を曲げているつるもいます。とてもきれいでした。

二日目は、この研修で一番楽しみにしていたカヌー下りでした。大自然の中、みんなと協力してゴールするカヌー下りは「児童・生徒県外研修」のいい思い出になりました。でも長い距離こぎ続けるので、手が痛くなったり、足がいたくなったりして大変でした。

カヌー下りをやり始めたときは、岸にぶつかってしまったり、思う方向に進まなかったりしたけれど、こういうものはやっていくうちにどんどん慣れていくものなので、最後の方は岸にもあまりぶつからず無事にゴールできました。

学年のちがう人達ともすっかり仲良くなれ、楽しい研修旅行でした。夜はなかなか寝れなくて、次の日が眠くて眠くてしょうがなくなってしまう日もありました。

このような数々の体験は学校の授業では習わないことばかりです。私は、この『児童・生徒県外研修』に参加して、なにか大切なことを学んだような気がします。

引率のみなさん、厚岸町のみなさん。私たち研修生にいろいろなことを体験させてくれて本当にありがとうございました。